

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立共同浴場	
(2) 施設の設置目的	
住民の保健衛生の向上及び生活環境の改善を図るため	
(3) 所管部局	
健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市就労支援協会	
(5) 指定期間	
令和3年4月1日から令和7年3月31日まで(4年間)	
(6) 主な事業	
・ 入浴施設の管理運営	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
近隣地域の市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
銭湯	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・堺市立の公共施設であることを念頭に置き、平等利用に努めた。 ・安全確保については、消防計画を策定し消防訓練を実施した。また、施設に不具合が発見された場合は、速やかな修理を含めた保全措置をおこない、利用者の安全確保を図った。 ・個人情報の保護等に関し、「公益財団法人堺市就労支援協会個人情報の保護に関する法律施行規程」に従い適切に実施した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人員不足の中、欠員補充が進まないところは、協会事務局職員や現場従業員で対応したことで、支障なく運営することができた。 ・人材育成については、協会主催の接遇・廃棄物・コンプライアンス・人権問題等の研修を受けることにより、スキルアップを図った。 ・定期的に保守点検や修繕をおこない、施設の維持管理を図った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・年度事業計画で企画した事業について、予定どおり実施した。 ・アンケート調査等により利用者の意見を取り入れながら、施設の目的に沿った改善をおこない、事業を重ねるごとに利用者満足度の向上につながった。
その他特筆すべき取組	・施設が老朽化しており、令和5年度は空調システムの大規模工事が予定されているが、設備関係の個別の不具合もあり、修繕費用が増加している。

イ 市による状況分析

・職員不足が慢性的に続く中でも営業に支障をきたすことなく運営出来たものの、不測の事態が生じた際、営業に支障をきたす可能性があることから、人員体制を整える必要がある。

・施設老朽化による不具合の多発したが、限りある予算の中で優先順位をつけて実施し、設備故障等による浴場休止に至ることを防ぐことができた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	公益財団法人堺市就労支援協会	公益財団法人堺市就労支援協会	公益財団法人堺市就労支援協会	公益財団法人堺市就労支援協会	公益財団法人堺市就労支援協会
利用者数(単位:人)	81,725	82,871	82,423	89,631	—
稼働率(単位:%)	—	—	—	—	—
利用者満足度(単位:%)	62.8	69.9	75.8	76.8	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	・障害者や高齢者にはイスや車椅子を用意するなどの配慮をおこなった。 ・自動販売機の設置やしょうぶ湯・ゆず湯の実施、子どもの入浴無料デーの実施など、自主事業を通じてサービスの向上を図った。
意見・苦情・要望等への対応	・「ご意見箱」の設置やアンケート調査により、利用者の率直な意見・苦情を把握し、改善可能なものは改善した。 ・それ以外にも浴場や行政の窓口で個別に出された苦情や意見については、協会事務局や行政と連携のうえ、対応した。
その他特筆すべき取組	・地元の保育所の体験入浴や小学生の見学会を毎年受け入れている。 ・特に小学生の見学会では、共同浴場の成り立ちや意義を説明し、施設のPRに努め、人権意識の向上を図った。

ウ 市による状況分析

・利用者数については、令和2年度からほぼ横ばいで推移していたが、令和5年度は大きく増加した。要因としては、令和5年10月から大阪府下公衆浴場料金が値上げしたことによる影響が大きいものと想定され、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる影響も一定あるものと考えられる。

・利用者アンケートや意見箱から得た利用者の意見をできる限り反映した取組を実施しており、満足度向上に貢献しているものと考えられる。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市就労支援 協会	公益財団法人 堺市就労支援 協会	公益財団法人 堺市就労支援 協会	公益財団法人 堺市就労支援 協会	公益財団法人 堺市就労支援 協会
収入	指定管理料	41,703,404	41,905,000	41,788,614	42,010,000	42,010,000
	利用料金	20,087,040	20,449,220	20,294,820	21,945,920	17,083,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	507,005	404,086	621,016	1,637,710	249,000
合 計		62,297,449	62,758,306	62,704,450	65,593,630	59,342,000
支出	人件費	30,600,366	30,171,885	24,711,375	26,653,711	30,965,000
	委託料	3,177,985	3,711,400	3,939,287	4,790,676	3,800,000
	総支出額に占める 委託料の割合	5.4%	6.2%	6.7%	8.1%	6.4%
	修繕費	2,047,094	2,492,693	2,339,152	3,980,999	2,000,000
	光熱水費	16,812,874	17,119,974	21,005,219	17,148,577	16,462,000
	その他	6,218,695	6,544,003	7,224,366	6,760,296	6,115,000
合 計		58,857,014	60,039,955	59,219,399	59,334,259	59,342,000
収支差額		3,440,435	2,718,351	3,485,051	6,259,371	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入	310,768	282,743	295,384	322,987	210,000
支 出	133,804	128,530	114,583	136,429	67,000
収支差額	176,964	154,213	180,801	186,558	143,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	光熱水費については、政府の支援金制度により、令和4年度と比較して大幅に減少した。また、水漏れを適宜修繕したことで、無駄な水道の利用を防ぎ、経費の削減に努めた。
-------------	---

ウ 市による状況分析

- ・設備老朽化による修繕やレジオネラ属菌対応にかかる委託による支出は増加したが、慢性的な人員不足や光熱水費への政府支援金などが影響し、支出は令和4年度とほぼ大きな変化はなかったが、収入が令和4年度よりも多かったことから、最終的に収支差額は大きく黒字となった。
- ・普段の運営に支障は無いが、慢性的な従業員不足については、突発的な事象があった場合に運営が出来なくなる可能性があることから、人員体制を整備する必要がある。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
衛生管理の徹底(基準値を超えたレジオネラ属菌の検出件数)	0件	1件

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者アンケートにおける「施設の清潔さ」に関する利用者満足度	満足度「不満」、「やや不満」の合計3%以下	4.44%
利用者アンケートにおける「職員の対応」に関する利用者満足度	満足度「不満」、「やや不満」の合計3%以下	2.73%

■収支

指標	目標	実績
経費節減に向けた取組	利用者サービスの増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げるように適正な予算執行を図られているか。	光熱費の削減や、残業時間の見直しを含めた人件費の抑制に努め、経費削減に取り組んだ。

イ 市による状況分析

・塩素濃度測定や清掃作業等の実施内容に不足はなかったものの、結果として女子副浴槽からレジオネラ属菌が検出され、部分的に閉鎖をしなければいけない事態となった。
 ・「施設の清潔さ」に関する利用者アンケート結果では、大変満足183件・満足230件・普通138件・やや不満18件・不満8件・無回答9件(計586件)となっており、さらなる満足度向上に向けた取組が必要である。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	内部統制スキームを引き続き実施し、勤怠管理も適正に実施し、従事者の勤務状況の改善やコンプライアンスの徹底を図ることができた。また、定期的な会議を実施し、課題の共有化に努め、定期的な保守点検も実施すること等により、仕様書で定められた目標を概ね達成することができた。	レジオネラ属菌の検出により、1日間施設を閉めなければいけない事態となったものの、老朽化した設備の修繕に積極的に取り組み、設備の故障を未然に防ぐことで安定した運営が出来たことについて評価する。
今後の取組	引き続き内部統制スキームの着実な運用を図りつつ、事故・トラブルや利用者の苦情にはすみやかに対応し、環境改善に取り組む。	今後大規模改修を実施する予定はあるものの、安定した運営のためには、設備面だけではなく、人員配置の整備も必要である。引き続き、内部統制を図りつつ、適正な環境整備に努められたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの